

第 2 回日野市指定管理者市民評価委員会議事要点録

日時	平成 29 年 5 月 23 日（火）午後 1 時 30 分～午後 4 時
場所	市役所 5 階 507 会議室
出席者	坪島委員長、吉澤副委員長、岩崎委員、彦谷委員
議題	1. 評価 (1) 日野市東部会館 株式会社 日野市企業公社 の報告、質疑、採点 2. 評価 (2) 日野市立多摩平交流センター 特定非営利活動法人 市民サポートセンター日野 の報告、質疑、採点 3. 評価 (3) 日野市立万願寺交流センター 特定非営利活動法人 日野子育てパートナーの会 の報告、質疑、採点 4. 全体まとめ
	●評価の内容 ・指定管理者による報告 10 分 ・市民委員からの質疑（回答：指定管理者） 20 分 ・市民委員からの質疑（回答：主管課） 10 分 ・まとめ（採点） 10 分
議題 1	●評価 (1)日野市東部会館 ：指定管理者（株式会社 日野市企業公社）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ （質問） 前回選定時の指定管理者への要望事項として「和室の利用率向上」があった。和室はなかなか利用者が少ない。プールの利用は非常に頑張っていると言えるが、集会室や和室、調理室などの利用率はどう考えているか。 （回答） 集会室、和室については東部会館の中では利用率の低い部分である。他の施設も含めて、市内では和室の利用率がなかなか上がらない状態である。その中で、東部会館に関しては、健康維持をテーマに掲げているので、和室を使った体操教室を定期的に行い、和室の活用を実施している。調理室もなかなか利用率が上がらないところなので、地元のトマトを使ったトマトづくしの料理教室などを年 3 回実施し、地域貢献をした。料理教室等の催しを

通じて日常利用への波及効果を狙っているが、まだ目標とは乖離しており、改善はしていく必要がある。

(意見)

夏休みの子供たちがプールを利用している。プールの後にお腹が空くため、事前にコンビニで買って行くようだが、プール後の子供たちを対象とした料理教室があると親たちも喜ぶのではないかなと思うので、提案する。講師の方がなかなかいないかと思うが、一緒に料理をしたいという高齢者も結構いると思う。

(意見)

建物が古くて結構暗いので、何か明るく使う方法を考えていただけたら良いと思う。

(回答)

現場では節電に気を使っている。昼間明るいうちは電気をつけないことを徹底して行っていた。平成 28 年度の終わりにロビーに LED の機材を入れたので、今後はもう少し明るくお迎えできるかと思う。

床は黒ずんでいたが、剥離剤という特殊な薬剤をかけて、長年の黒ずみをすべて取り、もう一度ワックスをかけた。施設はちょっと暗い感じだが、床はきれいにしている。

(意見)

どこの施設も掃除が行き届いていて、日野市はさすがだとあちこち見て思った。ありがたいことだと思って感謝している。

(質問)

収支状況について確認したい。電気使用量が非常に下がっている点と、区分上は市でやるべき 100 万円を超えた修繕がある点について聞かせていただきたい。

(回答)

電気料金に関しては、電力自由化に伴う民間の競争入札での選定の影響が東部会館にも入ってきている。その関係で電気料金が下がってきている。コストが下がった部分について、一定規模以上の修繕は主管課予算だが、主管課との意思疎通が十分出来ている中で棲み分けをし、指定管理者の方で一部修繕対応をした。

＝主な質疑（主管課）＝

(質問)

事業報告書に、計画利用者数が前年度の実績利用者数となっているが、どういうことか。

(回答)

募集条件に、少しずつでも利用率を向上させるという目標があるため、ひとつの目安として前年度の実績を上回っていくという設定になっている。

(質問)

2 年前に比べて、床も階段もきれいだったと思うが、経費はだいぶかかったのか。

	(回答) インスペクションと呼んでいるが、第三者の専門家の目で見ても、改善するための職員を導入した。その中で公共施設の清掃に力を入れた方が良いということに気が付いた。そういう訳で人件費や作業費というところに費用をかけている。 (質問) 電力自由化で電気料金が下がるケースが増えていくと思う。元々それらを考慮せずに指定管理料の契約がされているが、それらの還元というのは、今の契約の中では出来ないのか。 (回答) 指定管理者制度全体の話になるが、指定管理料の予算を取る時期と電力の業者決定の時期が異なっており、そもそもの指定管理料を下げられずに、現状違う形での還元になっている。今のご意見を含め、今後庁内で話を進めていくことになっている。 (質問) 建物自体の老朽化によって、修繕にある程度の金額がかかってしまうと思うが、その件で指定管理者との話し合いはあるか。 (回答) 東部会館においては長期修繕計画があり、建築躯体・設備等に分けて、どの時期にどういった修繕をするかを決めている。大規模な修繕は市の方で決め、大規模には至らないものは予算編成の前に指定管理者と協議し、これは指定管理で対応するという調整をする。ただし、突発的な修繕もあるため、これに関して基本的には指定管理者にやっていただくという状況である。平成元年築の施設であるため、現在はまず雨漏りの修繕が最優先である。その後、天井、壁、壁の破れ、カーテンの老朽化などを順番にやっていくという計画をしている。 (質問) 施設が老朽化する中で、どこを修繕するかという方面に気持ちが多くいっているが、やはり部屋ごとの利用を増やすことが基本なので、お願いしたい。 (回答) 和室の利用率については、努力はしているものの少し下がったというのが現状である。3つの和室のうち、1つは上がったものの残り2つは下がっている。なお、集会室1は地元還元施設になっている。 (意見) 和室は高齢者の利用も多いと思うので、高齢者用の椅子を導入する配慮などの予算取りもしていただきたい。フローリングに改修するなど、市として和室を減らす寛容的な方法も考えた方がいいと思う。 ＝まとめ（採点）＝
--	---

議題 2	●評価 (2)日野市立多摩平交流センター ：指定管理者（特定非営利活動法人 市民サポートセンター日野）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ （意見） 「日野菜キッチンレシピ集」のカラーパンフレットは良くできている。利用者に喜ばれるのではないか。 館内の掲示物のまとめ方はきれいで評価できる。 （質問） 多摩平の森ふれあい館は学生利用も多く、「子ども食堂」等を実施するのに適しているように思うが、何か考えているか。 （回答） もともと、「おかずクラブ」は、子供対象というよりも、調理室を使って、多摩平近辺に住んでいる一人暮らしの高齢者を対象に計画した。 しかし、同じ施設内にある児童館職員に話を聞くと、夏休みは給食がなく、昼食時間になるとお弁当等を持ってきていないので、どこかへいってしまう子供がいるとのことだった。 これを受け、子供の居場所づくりを考えていかなければいけないと考えている。どういう風になるか分からないが、他の団体や自治会とも連携をしながら検討していきたい。 （意見） 「子ども食堂」に捉われずに、例えば夏休み中に学校給食がない小学生向けに居場所づくりを行っていただきたい。 （回答） 現在、「日野菜ママ」は 0～2 歳くらいの乳幼児を持ったお母さんを対象に行っているが、今度は、夏休みか春休み等の長期休みの期間に、小学生等を対象に、日野の野菜を作っているところを見学し、親子で調理をする参加型の「日野菜キッズプロジェクト」をやってみようかと考えている。 （質問） 平成 27 年度に「小さな発表会」が始まり、その規模が平成 28 年度には大きくなって「多摩平の森ふれあい館まつり」になっている。非常によくやっていると感心するが、歳出が大きくなったのではないか。参加団体が負担しているのか。 （回答） 参加団体から費用を徴収するということはない。補助金で実施している。 （意見）
------	---

	平成 28 年度の収支はプラスマイナスゼロに改善されているが、平成 27 年度は赤字になっている。平成 27 年度の収支状況がマイナスになっているが、収支がマイナスになるのは好ましいことではないので、工夫をしていただきたい。 (回答) 工夫をしていく。 (意見) 高齢者の利用が多いと思われるが、新しいサークルを呼び込み、若い人の利用を増やして行ってほしい。 (回答) 若い人も利用している。一例として、「ベビーヨガ」等が活動している。しかし、そういった人たちが「多摩平の森ふれあい館まつり」等に参加するということは少ない。結果的に、高齢者サークル中心になっているというところがある。 多摩平の森ふれあい館には児童館と子ども家庭支援センターがあり、お母さんたちは来ているが、そこで何か活動するというよりも、子供を遊ばせながらちょっとお喋りして帰るという状況である。 まだまだ子育て世代の人たちが、自分のために時間を使うとか、自分たちが何かをしたいから集まろうということは、どうしても子供がかせになって出来ないという現状があると思われる。 そこで私たちは「日野菜ママ」を始めるときに、保育付きということにした。「保育がついているから来た」という方が何名かいらして、やはりその保育という子供をどこで安全に見てあげるのかというのがものすごく重要なテーマであると感じている。 「ふれんどさん保育室」というスタッフが預かりながら、お母さんたちが地域活動に関わっていけるよう支援している。さらにこのこと周知していきたい。 (意見) 多摩平の森ふれあい館内の各施設が連携して実施している「多摩平の森ふれあい館まつり」は、多摩平交流センターだけでなく、児童館など他の団体も前に出るようになると、より効果が出るのではないかな。 (回答) 毎月「連絡会議」の中で、多摩平の森ふれあい館内の各施設が参加し、男女平等課長を座長として、それぞれの責任者が集まって会議をしている。 その中で、平成 27 年度に多摩平交流センターまつりを実行し、評判が良かったことから、館全体で実行しようということになった。 その経緯から、私たちが中心となっていたが、来年はもう少し各施設で主体性をもってやっていきたい。 昨年度のふれあい館まつりでアンケートをとったところ、新住民の方が多くて、図書館に
--	--

は来ているが、交流センターまでは来ていないということが分かった。各施設と連携し、複合施設としての機能を最大限に発揮して多摩平の核になっていきたい。

＝主な質疑（主管課）＝

（質問）

調理室の流し台の上に天板をはめるのは東部会館でも実施していたが、どちらが先のアイディアなのか。

（回答）

天板をはめるというのは、よく調理室であるタイプである。東部会館のものは既存でそういうものがあった。

（意見）

利用率が 30%とは、高い数字か。

（回答）

市内では高い数字である。他施設では 15%くらいである。

（意見）

多摩平の森ふれあい館全体でみると 28 万人も利用しているのか。驚きである。

（回答）

市内の交流センターの中では一番利用が多い。その理由としては立地が大きい。多摩平の森ふれあい館全体としては、図書館利用者が多い。

（質問）

図書館利用者が交流センターに行く等のつながりはあるか。

（回答）

そのつながりがあるのかと思っていたが、「多摩平の森ふれあい館」まつりでアンケートを実施したところ、意外とそうでもなかったことがわかった。

同じ建物にあって 10 年やってきたが、本当の意味で複合だったのかということを反省し、もっと周りが連携していこうよという趣旨で指定管理者が音頭をとって、まず「多摩平の森ふれあい館まつり」を実施しているところである。

（意見）

指定管理者は、前回提案した内容を持って帰って、吸収し、改善し、前へ前へと進んでいる。これからは様々な施設や人を巻き込み、良い形になればと思う。

（回答）

その通りだと感じている。

（意見）

日野市は受益者負担割合が低すぎる。利用料金はもっと前に出て良いと考える。以前から、無料で使える施設が多く、「無料で当然」という感覚が市民の中に浸透しているが、それ

議題 3	は違うと考える。 (回答) 利用料金については今後検討していく。 ＝まとめ（採点）＝ ●評価 (3)日野市立万願寺交流センター ：指定管理者（特定非営利活動法人 日野子育てパートナーの会）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ (質問) 公園が相当広いと思うが、公園の敷地を使って何かやっているか。 (回答) (ミニ SL の) 線路の内側が万願寺交流センターとなっているので、公園を使って行っているのは月に一度、公園内の小高い丘を使って、「お山で遊ぼう」という企画でそりすべりをしているが、公園全体を使ってという企画は特にない。 (意見) 平日の夕方に行った時は閑散としていた。休日は人が多いとのことだが、せっかくあれだけの設備があるので何か使われたら良いのではないか。 (意見) ホームページがわかりやすくとても良いと思う。日野市役所のホームページから指定管理者のホームページに行けるようにしたら良いのではと思う。 (質問) 施設の周りにある草は除草されるという説明だったが、結構伸びているようだった。草刈りは行われているのか。 (回答) (ミニ SL の) 線路の内側が担当部分なので、指定管理者の方で年に 3 回は抜いている。 (意見) 展示室という広いスペースに、「齊藤 紅一」さんの絵画が展示してあるが、利用者が少なく、今の使われ方はもったいない感じがする。今後どう使っていくかが考えどころではないか。 (質問) 自主事業を抜いた和室の利用者はどのくらいいるか。
-------------	---

	(回答) 数は正確には出していない。昨年度の利用者が 20,653 人、子育て広場の利用者が 10,858 人なので、約半分の方が、自主事業以外で和室を利用していると思う。 (質問) 昼間と夜の利用率はどちらが多いか。 (回答) 昼間である。和室の夜だけの利用率は昨年度 36.7%となっている。 (意見) 今は和室がないお宅が増えているので、大切に使っていけるようにしていただきたい。 (質問) 施設に大きなガラスがあるが、今まで大きな事故などはあったか。 (意見) 今までは特にない。 (質問) 資料に「クレームに対応」とあるが、どのようなクレームがあったのか。 (回答) 玄関のドアの開け閉めの音がうるさい、との意見だった。 ドアクローザーを調整することで対応した。 (質問) 自主事業の最中に、お年寄りが施設で休んでいくことはあるか。 (回答) 過去に休んでいかれたことがある。自主事業の最中でも「来てはいけない」ということではない。 (質問) 場所が少しわかりづらいところにある。 (回答) 20 号バイパス沿いに看板は一応ある。 ＝主な質疑（主管課）＝ (主管課 補足説明) ホームページの件については、日野市のホームページと指定管理者のホームページとに相互に入ってくることも想定されるので、お互いにリンクを貼るようにしたいと思う。 「齊藤 紅一」さんの絵画については、展示の場所を万願寺交流センターに限定せず、少し分散をしようと考えている。この話は指定管理者ではなく市の話になる。いま地域協働課と企画経営課で話をしているところである。
--	--

議題 4	(質問) 利用者が少しずつ増えているということは、視聴覚室だとか、特別の使い方をする部屋も含めて市民が見て予約をされていると思うし、和室も子育ての関係で使われているので利用率については他の施設より良いとは思いますが、それが無くなったときには使い方も検討していただきたいと思う。 (回答) 市全体からすると、子育て広場以外の多様な利用方法が次の課題かなと考えている。 (意見) 公園があれだけ広くて原っぱも田んぼもあるほか、万願寺交流センターのアットホームな雰囲気があり、万願寺交流センターの良さがある。そうした点を今後活用していったほしい。 また、地域との接点を行政側としても橋渡しをしてあげたらどうか。地元自治会と避難訓練と一緒にやっているということも意味があることだと思う。 (回答) 行政としての橋渡し、ということには力を入れていきたいと思う。 広場の活用は、公園全体の活用の面から、行政として考えていかないといけない。 ＝まとめ（採点）＝ ●全体まとめ 今回の市民評価委員会は、平成 25 年度若しくは平成 27 年度に指定管理者制度を導入した施設について、指定期間 5 年間若しくは 3 年間のうち既に終了している平成 25 年度から平成 28 年度の 4 年間若しくは平成 27 年度から平成 28 年度の 2 年間の実績を基に審査・評価を行った。委員会では、指定管理者に対する質疑応答、主管課に対する質疑応答を行い管理・運営についてチェックした。 評価にも上げたが、どの指定管理者も、概ね一定の成果を上げており、一生懸命に様々な努力していることが感じられ、評価することができる。しかし、導入当初から同じ指定管理者である場合など、何回も市民評価委員会を行っている、慣れがでてきているように感じた。指定管理者による説明では、良いところばかりを強調し、主管課が提示する評価事項のポイントをしっかり説明できていない箇所が見受けられた指定管理者もあったと思う。 また、市で導入した電気事業者の競争入札の結果、電気料金が下がった分について、市民にしっかり還元される仕組みを検討していただきたい。どの施設も老朽化が進み、修繕ばかりに力がいってしまっているのではないかな。本来の事業に力がいっていないようにも見
-------------	---

	受けられるので、主管課で指導していただきたい。 協定期間は残り少なくなったが、意見、要望として取り上げたいいくつかの点についても積極的に取り組んでいただき、更なる市民サービスの向上に努めていただくことを希望する。 この他、市民評価委員会の審査資料について、指定管理者が管理する施設においては、各部屋の利用率を上げて行くことが必要と考えるので、施設全体の利用率だけでなく、各部屋の利用率がわかる資料も提示していただきたい。 ～第2回日野市指定管理者市民評価委員会終了～
--	---